

○ 救 急

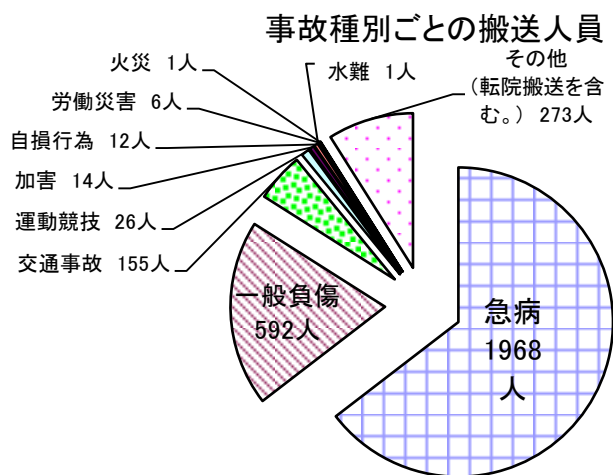
平成27年中の救急車が出場した件数は、3,313件で前年より21件増加しました。これを1か月当たりになると約276件、1日当たりになると約9件となります。

搬送人員は、3,048人で前年より40人増加し、市民の19人に1人が救急隊によって搬送されたこととなります。上位を占めているものは、急病1,968人、一般負傷592人、転院搬送272人、交通事故155人となっています。

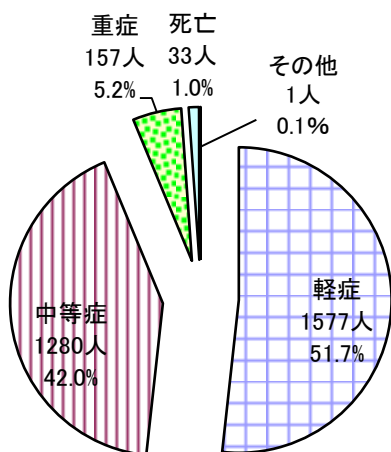
また、搬送人員の傷病程度をみると、軽症1,577人(51.7%)、中等症1,280人(42.0%)、重症157人(5.2%)、死亡33人(1.0%)、その他1人(0.1%)と、軽症者が半数以上を占め、高い比率となっています。一方65歳以上の搬送人員2,021人のうち、入院治療を必要とする中等症以上の者は、1,176人(58.2%)となっています。

搬送先別では、市内医療機関への搬送が96人(3.1%)に対し、市外医療機関への搬送は2,952人(96.9%)となっており、当然ながら1件の救急出場に要する時間は長くなっています。

このため、消防本部では、本当に救急車を必要とする救急患者の利用を妨げないように、緊急性のない場合などは救急車を利用しないよう、市民一人ひとりに協力と理解を呼びかけるとともに、市民に対する普通救命講習等の応急手当の普及活動を実施し、なお一層の効果的で円滑な救急業務を目指しています。



傷病程度ごとの搬送人員(全体)



傷病程度ごとの搬送人員(高齢者)

